～さわやかな 笑顔 みどり学年～

明石市立二見中学校
７１回生
第２学年　学年通信
平成 29(2017)年 6 月 27 日（火）
ＮＯ．70

トライやる報告会を終えて

トライやる・ウィークを振り返ってみて、学んだことを改めてもう一度考えてみました。

それは、今日の報告会でも言っていた通り、礼儀やあいさつ、時間だなと思いました。礼儀は、人の気持ちがよくなるための行動だと思うし、あいさつは、人とのコミュニケーションをとるためだと思うし、時間は、約束の時間に遅れないように守るためで、いろんな意味が込められているということを学んだと思います。

でも、２週間くらい経つと、気がゆるんで、授業が落ち着いてできていない時があります。集中したい人もいる中、邪魔をしてしまっている場面が多く見られます。



だから、この報告会を境に、今の生活態度をもう一度、良いものにしていくために、毎日が緊張感をもって、安全に、授業も静かにしていくようにしたいと思います。自分も、今の生活態度じゃ全然だめだと思うので、しっかり気を引き締めていこうと思います。

自分が良くなってから、周りを注意して、もっともっと、良いクラスになるように責任をもって、これからの生活を送ろうと思います。

発表も良い気づきとなりました。ありがとうございましたという、感謝の気持ちでいっぱいです。

（３組　女子）

報告会でのムービーを見て、約３週間のことを思い出しました。３週間前の私は、慣れないことがたくさんあり、毎日が大変でした。でも、私がトライやる・ウィークでさせていただいたお仕事は一部で、私が帰った後も、一生懸命大変なお仕事をされているんだろうなと思いました。普段このような体験をすることがないので、貴重な５日間となりました。私が、体験させていただいた所は、子どもに関わる仕事場で、子どもとのコミュニケーションや、先生方のコミュニケーション、子どもたちからの信頼も大切だし、先生方からの信頼も大切です。トライやる・ウィークを通して、もっと変わっていかないといけないなと思いました。自分から、積極的にいかないと、仕事はできないし、ムービーを見て、どの職業も大変なお仕事だと思いました。

大変な、お仕事を体験させていただいて、社会はそんな簡単にはうまくいかないし、周りの方々の支えがあって、できたということを実感しました。将来に向けて、今から実行できることをしていきたいと思います。

（４組　女子）



今回のトライやる・ウィーク報告会で、みんな色々なことを学んできたことがわかりました。トライやる・ウィークの動画では、一人一人が自分の仕事をしっかりしていることがわかりました。代表で話していた人の話で、同じだなと思うところがいくつかありました。自分はイトーヨーカドーなので、あまりお客様と接することは少なかったけど、一回試食をしたときに、声が小さいとあまり食べてもらえなかったことが多かったけど、大きい声で言うと、食べてもらえる数が増えました。

（７組　男子）

今日の集会で分かったことは、どの職業でも、大変だと分かりました。改めて、自分の五日間を振り返ってみると、初めは緊張してぎこちなかったけど、日を重ねるたびに慣れていきました。慣れるということは、自分が、居心地がよくなっているということなので、これから嫌なことがあっても、トライやる・ウィークのように、なんでも慣れていきたいです。トライやる・ウィーク中は、学校より気が引き締まって、常に丁寧な言葉を心がけたりなどしました。これをトライやる・ウィーク中だけにせず、学校やかしこまった場所でも生かせるように頑張っていきたいです。また将来、面接、就職先でも生かしたいです。

今日の二見北小学校の教頭先生の話で、大切にするもの３つは、僕は尊敬と感謝と命です。誰かが何かをしたから、自分が進められる、あこがれることができるので、大切にしたいと思います。二つ目の感謝は、自分一人では生きていけないからです。安全のために働いている人、食べ物を作っている人、自分を育ててくれる人に感謝を込めるからです。三つ目は命です。命を大切にするということは、体と心を健康でいることで、心を健康にするには、家族や地域の人、その他の人とコミュニケーションをとる必要があるからです。



３つすべてを大切にして、これからの人生に生かしていきたいです。

（５組　男子）